

まちじゅう基地局時代のヒバク公害の予防と救済 ー研究の始まりを市民とともに考えるー

日時：2012年6月10日(日) 午前9時～12時

会場：別府大学 別府キャンパス 3号館ホール

会場アクセス：<http://www.beppu-u.ac.jp/access.php>

〒874-8501 大分県別府市石垣82

JR日豊本線「別府大学駅」から徒歩10分

「別府駅」よりバス約20分、タクシー約12分(約1600円)

みんなで
考えよう!

市民参加
大歓迎

みんなで語り合い、
日本で携帯電話局公害研究の
第一歩を踏み出しましょう。

市民と研究者、市民と市民、そして研究者と
研究者の間に横たわる、見えない壁を越えて、
事実に向きあうシンポジウムを開催します。

携帯電話局は激増し、住民の
健康被害の訴えが急増しています。
しかし日本では、携帯電話局による
ヒバク公害に関する研究は皆無に近い状況です。

9:00 開会/趣旨説明 近藤加代子（九州大学）

第1部 「被害の今」

- 9:05 加藤やす子（いのち環境ネットワーク） 基地局電磁波公害の現状 国内外の規制と対策
9:15 中原 久男（託麻の環境を守る会） 御陵地区の携帯電話局反対運動と健康被害の現状報告
9:25 徳田 靖之（徳田法律事務所） 宮崎延岡裁判について

第2部 「研究の今」

- 9:45 荻野 晃也（電磁波環境研究所） 日本の電磁波公害研究の特徴と課題
10:05 北條 祥子（早稲田大学） 医師免許を持たぬ研究者の模索
ー早稲田大学応用脳科学研究所“電磁波および微量化学物質による健康影響研究会”の結成ー
10:25 休 憩
10:30 新城 哲治（大道中央病院） アンケート及び聞き取りによるマンション住民の健康調査 携帯電話基地局撤去前後での症状の比較
10:50 吉富 邦明（九州大学） 小学校における電磁環境と健康影響との関係に関する調査
11:10 平川 秀幸（大阪大学） 電磁波公害研究のための共同事実確認は可能か？

第3部 討論（全員）

11:30～12:00

主 催：日本環境学会別府大会実行委員会（委員長：別府大学 阿部博光）

後 援：アースデイおおいた、大分合同新聞、建築ジャーナル、グリーンコープおおいた、社団法人 大分県LPガス協会

連絡先：近藤加代子 092(553)4449 kondo@design.kyushu-u.ac.jp 土器屋美貴子 mother-t@oct-net.ne.jp